



第 24 回のテーマはこちら

## 価値観の尊重

### ～相手の望み通りにすること？～

#### 「価値観を尊重した看護をしましょう」

そんな言葉を言われたことのある看護師は少なくないはずです。看護師の役割のひとつは“患者の生活を支えること”となっているので、価値観について言及される機会は多いと思います。

では、価値観の尊重とは具体的にどのようなことなのでしょう？

価値観を広辞苑で調べてみると「個人もしくは集団が世界の中の事象に対して下す価値判断の総体」、尊重も同じように調べてみると「尊いものとして重んずること」でした。

つまり、価値観の尊重とは、「**個人が持つ価値判断を尊いものとして重んずる**」ということになります。

基本的には**相手と対話していく**中で、相手の人となりや生活背景などを知り、人生の中で築かれてきたその人個人の考えや物の捉え方を尊重するというのが「価値観の尊重」です。

ここで注意したいのは、“**「価値観を尊重する＝相手の望み通りにすること」ではない**”ということです。相手の価値観を知り、相手の立場に立って一緒に考えることが重要なのであって、**絶対に共感してその通りにしましょうということではありません。**

医療者として大切なのは、相手の価値観に対して「わかります」とただただ共感することではなく、**相手の価値観を認めたいうえでどうするか**という部分です。

さらに言うと、相手の価値観が、“**本当に価値観なのか、もしくは誤解なのか**”も判断しなくてははいけません。正しい知識をもとに相手がそう思っているのであれば、それは価値観として対応して良いのですが、知識が不十分なために誤解している場合もあります。

そのような場合は、**誤解を解いたうえで話し合いを重ねる**ようにしましょう。

自分の価値観や世間一般的な認識と異なる価値観に出会ったときに、反射的に「ノー」と返すのではなく、「そういう考え方もあるんですね」とまずは相手の価値観を受け入れた上で、医療的な見解を交えて対話をくり返していけるようになればと思います。